

毒キノコ 『オオシロカラカサダケ』にご注意下さい

毒素が非常に強い“毒キノコ オオシロカラカサダケ”が桜ヶ丘四丁目の街路樹周辺草むらに生息していました。確認できたものは処理しましたが、広範囲に生息している可能性もありますため、回覧にて注意喚起させていただきます。誤食しない様、素手で触れない様、ご家族皆様に注意して頂きますよう周知をお願い致します。

1.オオシロカラカサダケ

白くカサが大きいのが特徴です。(直径 5cm～25cm) 土から出た幼いオオシロカラカサダケは卵型のカサで茶色ですが成長すると徐々に白色になりカサも開きます。子実体は食毒で嘔吐・下痢の激しい胃腸症状を引き起こします。



※上記写真は資料写真であり、桜ヶ丘で見つかった毒キノコの写真ではありません。

2.桜ヶ丘で見つかった場所



赤○の処です



上記写真は情報提供者に頂いた桜ヶ丘で見つかった毒キノコの写真です。

毒キノコらしきものを発見した場合は班長に連絡をお願いします。